

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'95
9

月号【1日発行】



いまを話す

世界的チェンバリスト 曾根麻矢子さん
イメチェン
古楽器演奏
現代の聴衆を魅了



サロマ湖

第1回かわさき市民アカデミー学園祭
9テーマの公開講座 受講生募集 無料

9テーマ 公開講座に参加しませんか

第1回 かわさき市民アカデミー学園祭

無料

〈公開講座〉

月 日	時 間	テ ー マ(演 題)	講 師 ほか
9月16日 (土)	13:30~ 15:30	素晴らしい生物の飛行 (講義と実習)	東 昭・東京大名誉教授
9月17日 (日)	13:30~ 15:30	「高齢者疑似体験」～福祉文化・高 齢者介護の理解を深めるために	WAC公認インストラクター 18人
9月18日 (月)	13:00~ 15:00	経済史から見た日本経済のゆくえ	堀内行蔵・法政大教授
9月19日 (火)	13:00~ 15:00	これまでを振りかえって	佐野 洋・作家
9月20日 (水)	13:00~ 15:00	戦後50年を迎えた平和憲法 (その問題点を考える)	杉原泰雄・一橋大名誉教授
9月21日 (木)	11:00~ 12:00	三味線音楽を楽しむ (三味線演奏と解説)	解説 竹内道敬・国立音大教授 演奏 石森智子・三味線奏者 歌 アカデミー会員
	13:00~ 13:45	戦後50年を考える(詩の朗読) 花森安治「戦場」 茨木のり子「木の実」	朗読 アカデミー会員 指導 江藤文夫・成蹊大教授
	14:00~ 16:00	「いじめ問題」をどう考えますか? ～家族・地域社会の視点から	平塚真樹・法政大助教授

●会場 新百合21ホール(新百合ヶ丘駅下車、新百合21ビル)、16日(土)は中小企業・婦人会館
(武蔵小杉駅下車) ●参加費 無料(17日は教材費300円) ●定員 先着80人。複数受講可

〈フィールド公開講座〉

●集合時間・場所 9時半、子母口バス停

月 日	時 間	テ ー マ	講 師
9月16日 (土)	10:00~ 15:00	たちばなの散歩道～古代遺跡探訪。子母口貝塚、 橘樹神社、能満寺、影向寺、西福寺古墳など	三輪修三・日本民 家園学芸員ほか

●参加費 無料(資料代500円) ●定員 先着20人 ●小雨決行

◆申し込みは、いずれも9月1日(金)10時から ☎(422)3932のかわさき市民アカデミー
学園祭実行委員会(かわさき市民アカデミー事務局内)

Stage Up 9 月号もくじ/1995年

◇かわさき市民アカデミー学園祭 ————— 2

■ほんねインタビュー いまを話す
イメチェン古楽器演奏で ————— 4

現代の聴衆を魅了
世界的チェンバリスト 曾根麻矢子さん ————— 8

◇はりきってます グループ紹介 ————— 8
視力障害者へ「声の雑誌」をおくる

ふれあいの輪広げる
——— さんざし(多摩・麻生区)
あそぼう会(川崎区) ————— 10

◎学習・文化情報 ————— 10

○初めてふれるパソコン講座II 受講者募集 ————— 11

●中国遼寧芸術団川崎公演 ————— 12

●神楽月の誘い 「早池峰神楽と乙女文楽」 ————— 13

■ミニニュース・読者の声/編集後記 ————— 15

◎表紙絵………サ□マ湖 ————— 田中 保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

民謡ロック 伊藤多喜雄コンサート

生活から生まれた民謡がロックのリズムでいま魂をゆさぶる!



12月1日(金)午後6時半 開演

エポックなかはらホール
(JR南武線武蔵中原駅前)

出演 伊藤多喜雄 & TRYIN' TIMES

曲目 トラジ(韓国) 津軽じょんから節(青森)
アリラン(韓国) ソーラン節(北海道)
とっばら一ま(沖縄) こきりこ節(富山)

入場料 3,500円(全席指定)

前売り 9月7日(木)午前10時から

- 申し込み (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎ 952-5000
同川崎分室情報コーナー ☎ 233-6250
チケットぴあ・チケットセゾン
- 問い合わせ 同小杉分室イベント事務局 ☎ 422-3932

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団 / 川崎市教委

いまを話す

世界的チェンバリスト

曾根 麻矢子 さん

Vol.37

イメチェン
古楽器演奏

現代の聴衆を魅了

スロウ・ダンス

偶然、パリで巨匠に認められ

パリを拠点に活躍している世界的チェンバリスト、曾根麻矢子さんは、古楽器のイメージを一新させた魅惑の若き演奏家。古典音楽を古楽器で奏で、現代の聴衆が共感する演奏を実現させた。幼いころからピアニストをめざし、高校のとき、バツハに魅せられチェンバロを。パリでたまたま、チェンバロ界の巨匠、故スコット・ロスに才能を認められた。だが、偶然と幸運によるサクセス・ストーリーではない。音楽の猛練習、フランス語の独学も「音を出すのが至上の喜び。苦しかつたことなんて」。努力・根性とは程遠い存在。そのプラス思考が、瑞々しく繊細でダイナミックなステージを創り、ファン層を広げ心をつかむ。インタビューアは椎野和枝さん。

——パリ在住の曾根さんの日本でのお住まいが、多摩区にあると知りうれしくなりました。

曾根さん ここには十年前に越してきて、両親が住んでいます。私はパリに移って六年になります。が年に四回ほど、帰国して演奏会を開いています。

——パリへ行かれたきっかけは。
曾根さん 初めてヨーロッパに旅行して、パリを訪れ「このまちに住んでみたい」と。チャンスを狙っていたら、フランスのレコード会社との契約や、パリでこのチ

ェンバロが弾けると言われ「引越しちゃえ」と……(笑い)。

——先日、コンサートを聴かせていただきましたが、あの時のチェンバロですね。この楽器を始めたいきさつは。

曾根さん 小さいころからピアノストになりたかったんです。高校に入ってバツハに魅せられ「チェンバロで弾いたら、バツハのことがもつとよく分かるかも」と思っ。その途端、チェンバロが無性に弾きたくなっちゃって。

——バツハの宗教音楽やバロック音楽は一六、七世紀。ピアノの発明が一八世紀。バツハはチェンバロでの発想、素晴らしいわ。
曾根さん 高校二年から副科でチェンバロがとれて「チャンス到来」と喜んだのに、先生も家族も猛反対。ピアノと同じ鍵盤楽器なのに。それを「どうしてもやりたい」と押し切ったのがミソでしたねえ(いたずらっぽく)。

——こうと決めたらやるタイプ。
曾根さん 本当にやりたかったの。チェンバロに触れたレッスンの一日目はドキドキして。そのとき「何かあるな」と感じました。

——インスピレーション？

ピアノや~めたに周囲は反対 国際「軽い気持ちで受け」入賞



肉親の愛を実感したのですね。ピアノは続けたのですか。

曾根さん ピアノ科なので一応は。高校を卒業して「あー、チェンバロだけ弾ける」とうれしくて。

ピアノを振ってしまったのね(笑い)。ブルージュ国際チェンバロ・コンクールを受けたのは高校卒業の後ですか。

曾根さん 一九八六年に初めてヨーロッパに行ったとき「ついでに」と軽い気持ちで受けちゃったの(笑い)。予選は受かったんですが、本選の曲は練習していなかった。そのうえ、本選の課題曲を間違えていたんです(苦笑い)。

まー、それでも入賞。スコット・ロスに出会えたのはいつ。

曾根さん はい。このチェンバロを製作したデビッド・レイが、私の演奏に感心して、審査員のスコット・ロスを紹介してくれたんです。この楽器はスコットが愛用していたのですが、そのとき、スコットがどういう人か全く知らなかったんですよ。

スコット・ロスの印象は。

曾根 麻矢子 さん

そね・まよこ=東京生まれ。桐朋学園付属高ピアノ科卒。在学中、チェンバロを鍋島元子氏に師事。1983年よりソリスト、通奏低音奏者。86年、ブルージュ国際チェンバロ・コンクール入賞、審査員の故スコット・ロスに認められ指導を受ける。国立音大音楽研究員を経て90年からイスラエルのオーケストラ専属チェンバロ奏者、ソリスト。バッハ・イギリス組曲、スカララッティ・知られざるソナタなどのCDも。欧州と日本で演奏活動。雑誌「DIME」に随想を執筆中。パリ在住。実家は多摩区三田。

曾根さん 翌年、ベネチアでスコットの講習会を受けたんです。

チェンバリストにありがちな音楽学的なものが、彼の演奏からは臭われないんです。新鮮なショックを受け、ソロへの道を目覚めさせてくれたのです。

それまでは、伴奏が中心でしたか。

曾根さん ええ。通奏低音で学ぶことも多かったんです。でも、「これでいいのかな」と感じ始め

曾根さん そうなんです。触ったら「やっぱりこれだ。私はこの楽器をずーっと弾くんだけ」と。そして、チェンバロからひと時も離れたくない。音を出すことが至上の喜びで、食事の時間も惜しくて。

——楽器に魂を奪われた。
曾根さん 本当にそう。授業も

頭に入らず、時間があればレッスン室へ。みんなに「マコがまた居ない。どうせチェンバロよ」と言われしました。学校で朝は七時から、夜は十時まで練習して、帰宅しても「まだ弾きたい病」なの。チェンバロに反対した父がいつも送り迎えをしてくれて、うれしかった。

女の生き方を
見つける
椎野和枝さんが聞く

ソロ・曲目増・仏語を必死に勉強

「後にはマヤコに」と…

たころ、スコットに「ソロをやりたい。レパートリーを広げ、フランス語をマスターしたら、僕のレッスンを受けに来なさい」と言われたんです。パリに住み、彼のレッスンを受ける日を夢見て、フランス語を必死に勉強したので、

音楽大学に進むことは、考えなかつたのですか。

曾根さん 私が入りたい人は、スコット・ロスでしたから(きつぱりと)。ほとんどの人が音大に入りますね。両親からも勧められましたが。スコットのレッスンを何度か受けてまもなく、彼が亡くなったのです(くちびるをかむ)。
それは……。大変な衝撃だったでしょうね。

曾根さん 言葉では言い表せないシヨックでした。しばらくしてスコットが「僕の後はマヤコに任せる」とレコード会社の人に伝えていたことが分かつたんです。デビッドから「スコットが愛用して

いたこの楽器を弾くのはマヤコしかない」と言われました。

曾根さんの才能を認めていたのですね。なにが巨匠の気持ち動かしだと思えますか。



曾根さん さあ。チェンバロへの愛情とか熱情、音楽の感じ方に共通する部分があると思つていたんでしょうか。私にとってこのチェンバロは、スコット・ロスそのもので、チェンバロの弾き方を楽器自身が教えてくれるんです。

コンサートの最後に弾いた「ファンダンゴ」は、バッハと同時代のD・スカルラッティの曲ですが、軽快な演奏なのでびつくり

したんです。

曾根さん あれは、びつくりさせるためにやつたんです(愉快そうに)。CD作りのとき、あの曲の楽譜を見たら、つまらなかつたんです。スカルラッティの作かどうかも不確かで、楽譜も完全とはいえないんです。しかし、ファンダンゴはスペインの舞曲で「モチーフがどンドン展開することが許される、これは変えるしかない」と思い私が編曲したんです。

若い人がリズムに乗つていました。麻矢子さんが、本当に楽しく弾いていて、チェンバロのイメージが変わりました。

曾根さん 最近ではバッハよりそういう曲が好きなんです。「チェンバロは静かな楽器で、かしまつて聞くから眠くなる」といわれませんが、弾き方次第では実に多彩で素晴らしい楽器なんです。毎回、アンコールでファンダンゴを弾くと、お客さまの顔が生きいきとするのが分かるんですよ。

音楽評論家の方も、実際に聴いて驚くようですね。

曾根さん 音楽の知識のある方に衝撃を与え、知識があまりない方は素直に受け入れ反応します。



椎野和枝さん

私も曾根さんのコンサートを聴いて、新たなチェンバロの楽しさに目覚めさせられたと思います。曾根さん そう言っていただけるとうれいす。本当に。

センスのあるファッションにも感嘆しました。

曾根さん 衣装は、パリの競売で見付けた生地やバロック時代の男性の衣装を参考にして作り、会場の雰囲気に合わせて決めます。

チェンバロのすばらしい音色が聴ける理想の場所は……。

曾根さん 中世に、この楽器が弾かれた宮廷のように天井が高く、木の壁、石の床がある所が楽器本来の響きで聴けるんです。パリの一七世紀に造られたアパートで弾いたとき、今までの響きと全く違い「チェンバロってこういう響きなんだ」と感激し、空間が響きを出す大切さを再認識しました。
そして演奏自体も変化して。

曾根さん はい。その響きを聴きながら練習すると、音楽がどんどん変わっていくんですね。

——日本のステージ、聴衆はいかがですか。

曾根さん 入れ物は日本の方がいいんです。いちばん良かったのが大阪の石原ホール。宮廷のサロンの雰囲気、響きには及びませんが。日本でチェンバロというと首をかしげる人もいますが、ヨーロッパ



ツパではみんながチェンバロを知っていて、コンサート自体も珍しくないんですよ。

——チェンバロは、ピアノと同じ鍵盤楽器ですが、弾く技術はど

うなんですか。

曾根さん テクニックは、ピアノと全く違いますね。(愛用のチェンバロの前に立ち)ピアノは弦をハンマーで叩いて音を出しますが、チェンバロは、鍵盤の延長上に乗っている小さな鳥の羽根を削って作ったもので弾くのです。鳥の羽根は温度、湿度の変化によって、音にばらつきが出たり、タッチが変わります。演奏者が調律をこまめにして、羽根の感じを確かめるように演奏しないと……。

——まるで、生き物ですね。

曾根さん 本当に微妙なの。激しい曲でも、強くたく力は必要としません。けれど、手が柔らかい状態でないとうまく弾けない。家事をしてはいけないの(笑い)。

——ええっ、そんなに。日常生活はどうされているのですか。

曾根さん 買い物するとき、リュックやキャリーを使います。演奏中に、音の感触を指が瞬時にコン

音楽界に驚きの波

スペイン舞曲
編曲・演奏で

多彩な音・響き川崎でも

★曾根麻矢子さんのリサイタル ●11月18日(土)午後7時、グリーンホール相模大野。入場料(全席自由)一般2千5百円、学生千円。●11月22日(水)午後7時、東京文化会館小ホール。入場料 S席5千円、A席4千円。



トロールできるよう、日ごろから細い神経を使わないと。

——心身のコンディションの調整も大変でしょうね。

曾根さん よい演奏をするために、いつも自分の心をオープンにするよう心掛けています。

——お話を聴きしていると、曾根さんには苦労がないみたい。つらいこともあったのでしょうか。

曾根さん 実は今年の五月、私を可愛がってくれた祖母が亡くなりました。私の帰国を待つて亡くなった気がしています。けれど、そんな悲しい時も、チェンバロが助けてくれます。「私には音楽がある。いい演奏をすれば、おばあちゃん喜んでくれる」と思ったら、悲しい気持ちを通り過ぎて……。バカンスの時も、チェンバロがないと三日目には駄目になるんです。私の息抜きはチェンバロなんです。

ね(幸せそうな表情で)。

——ほーお。曾根さんにとってチェンバロの魅力とは……。

曾根さん 音色です。チェンバロの音色は個々の楽器、演奏者によって大きく異なるのです。ですから、一度は私のナマ演奏を聴いて欲しいのです。

——将来の抱負はいかがですか。

曾根さん ちょうど、人生を考える節目にあると思っています。自分の音楽が日々、すごく変わっていくのが自分自身でわかるんです。今後、もっとビッグになるため、自分がどう生きていくべきか、真剣に模索しています。このまま続けるのではなく、すごく成長したいとの気持ちです。

——曾根さんは帰国のたびに魅力を増し、音楽への意欲も高まっていますが、川崎について一言。

曾根さん 両親が住んでいるこの川崎で演奏会を開きたいと思っています(瞳を輝かせて)。

——ぜひ、開きましょう。市民も待っていると思います。

題字は高橋清・川崎市長
構成／野々川千恵子
文責／田中 罔

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ
学ぶ
活動する
住む住む。



聴く人
リスナーと交流
役立つ情報提供

視力障害者や体の弱ったお年寄りに本や新聞を読んであげ、地域のニュースをテープにするボランティアグループ「さんざし」 坂口公子代表

視力障害者へ「声の雑誌」をおくる

さんざし(多摩・麻生区)

「声の雑誌」「多摩麻生ジャーナル」や小説、詩などを朗読しテープにする「リーディングサービス」は障害者に喜ばれている活動。

この日は、小田急線新百合ヶ丘駅近くの「福祉パルあさお」で、この「声の雑誌」のリスナー(聴く人)との交流会。テープの声を聴いていても半数が初対面。

リスナーから「多摩麻生ジャーナル」について「テープの時間が手ごろで、聴きやすく感謝しています」視覚障害者と関係のある報道がテレビ、ラジオでは少ない。新聞からの情報をもっと多くテープにして、などの声があった。会員たちは、「健常者の気付かない指摘があり、参考になります」とうなずく。

この後、全員でビンゴゲーム。会員が隣りの障害者と自分の氏名を紙に平仮名で書く。別の平仮名一文字のカードを障害者が引き、その字と氏名の字が合ったら、字を消して、氏名の字すべてが消えたら上がりで、その順番を競った。カードが引かれる度に歓声が上がり、なごやかなムード。会員は、リスナー達がゲームに親しむ姿に接し、親近感を増し、「より親しめ

る声の雑誌を」と誓う。

同会の例会は月三回。麻生区の山口自治会館にアナウンサーを講師に招き朗読の勉強など。

同会の誕生は四年前。近所で出前朗読をしていた坂口代表が、北部に会が無く、障害者が不自由なことを知り「朗読グループを」と友人三人に呼び掛け、スタート。俳句雑誌のリーディングサービスをやる安達信子さん(67)は「淡々と読むのに苦勞します。奉仕というより、自分の勉強になります」と笑顔で話す。

リスナーの木下欣子さん(69)は「多摩麻生ジャーナルのスーパーや食堂の紹介が楽しみ。テープが届く日は、全部聴いてから寝ます」とにっこり。

坂口代表は「大勢の会員がいるので、障害者の要望にこたえています。まだこの会を知らない障害者も多く、行政の協力によって、多くの障害者が利用されるよう願っています」と語る。

同代表宅は、多摩区寺尾台二の八の二〇の三四。☎(066)1269。

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・熊野史子

はりきってます グループ紹介

ふたあいの輪はかな

あそぼう会(川崎区)

同じ地域に住むもの同士、お年寄りも障害者も、大人も子供も、ともに触れ合い暮らしたいと川崎区の「あそぼう会」―高野詔次代表(52)―の三十人は活動する。

この日は、田島養護学校を起点に施設や公園をめぐる歩くウォークラリー「わくわく探検隊」。

前日からの雨がまだ残る中、参加者は十人の障害者を含め七十五人。この日待っていた仲間、係りの説明を聞く間もそわそわ。

「短い旅」の先は、参加者にはなじみの地域。それでも、なにか面白いことが待っていそう、子どもも大人も目を輝かせる。ようやく晴れた空の下、六班に分かれ出発した。

参加者には歩くコースは前もって知らされていない。行く先々に指令書が手渡され、指定どおりに次のポイントに移り、ゲームや作業をするルール。途中、町の宝物をカメラに収め、それぞれの班で

決めた課題、例えば自動販売機の数や花の種類を数えてゴールする。歩きながら、得意の歌を歌ったり、迷子になった時の話を夢中で

する障害者。いい年して迷つなよ」とボランティア。ごく自然に会話が続く。公園ではお年寄りに、ブランドゴルフを教わり、障害者作業所では雑巾をたたみ、軍手を束ねる。ノルマの達成のため子どもも障害者も真剣そのもの。うまくできない人をみんな励ます。

最初の指令書から道を間違えた、規定の点がとれなかつたりと、時にはシユンとなることもあったが、出発から二時間、二―四カ所のポイントを回って全班ゴールの田島養護学校に戻った。

このような行事を年十回も開くが、その企画や準備が、あそぼう会のメンバーの腕の見せどころ。

同会は、五回続いた障害者と健常者が交流する「われら人間コンサート」が終了した一九九三年、「活動を地域に残したい」と高野さんと川崎愛泉ホーム、田島養護学校、教文田島分館などが中心になり発足。町内会のお年寄りなどに積極的に関わりかけた。

交流の場がなく、孤立して生きていた人も参加して、少しずつお互いを理解できるようになった。

食品労組から参加の谷口伸子さん(26)は「モノで貢献するより、一緒に動くことに意義があると思つて」と笑顔を絶やさない。

代表の高野さんは「初めは障害者とうつ接するが戸惑いも。その考え自体が不自然で、純粹さを取り戻せました」と話す。

同代表宅は川崎区浜町三の九の一五。☎(3333)7067。

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

お年寄りも障害者も
童心に返りワクワク

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「入門①VOICETEレ
ーニング金・水曜②エアロ
ビクス③人形劇④社交ダン
ス⑤パステル画◆県立高津
青少年会館」①の金曜は9
月1日～12月22日、水曜は
9月6日～12月20日の毎週
各全15回。発声法の基礎を
学ぶ②は9月5～26日の毎
週火曜、全4回③は9月7
日～10月26日の毎週木曜、
全8回④は9月20日～10月
25日の毎週水曜、全5回⑤
は9月21日～10月19日の毎
週木曜、全5回。いずれも
時間は19時から。無料。申
し込みは☎(844)21
01の同館。

59の同館Ⅱ中野島駅下車。
「くずし字の原本でたど
る江戸文学の世界◆麻生文
化センター」毎月第2金曜
18時半から。芭蕉、西鶴の
作品、読売瓦版など江戸文
学に触れる。講師は宮脇真
彦・東横学園女子短大講師
入会金2千円、月謝千円。
江戸文学研究会主催。申し
込みは☎(922)616
3の石井達郎代表。

「がん予防講演会◆麻生
市民館」9月26日(火)14
時から。白井英一郎・市が
ん検診センター所長、福田
護・聖マリアンナ医科大学第
一外科助教授が、がん対策
や最新の乳がん診療につい
て講演。無料。申し込みは
☎(200)2424の衛
生局成人保健担当。

「世界都市物語PART
3～人物と都市◆和光大学
ばいでいあ」9月22日～10
月27日の毎週金曜19時から、
全6回。3千円。先着50人。
申し込みは9月1日(金)
から往復はがきに、世界都
市物語PART3聴講希望、
氏名、年齢、職業、住所、
電話番号を記し〒195町
田市金井町2-160、同大
学開放係☎044(9
88)1433。鶴川駅前。
「@私の出会った子ども
・青年・大人たち◆和光大
学」10月21日(土)13時か
ら。講師は横湯園子・北海
道大教授。無料。はがきか
FAXに☎、氏名、連絡先、
電話番号を記し、前項の住
所か、FAX044(98
8)1435の同大学学部
事務室☎044(989)
7497。鶴川駅下車。

「かながわ県民アカデミ
ー」ビジネスマンのための
特許権講座◆県立川崎図
書館」10月19日～11月16日
の毎週木曜13時半から、全
5回。特許についての知識
や最新の情報を体系的に。
受講料4120円。申し込
みは9月1日(金)～30日
(土)に往復はがきに住所、
氏名(フリガナ)、年齢、職
業、電話番号を記し〒1
0川崎区富士見2の1の4、
同館☎(233)453
7。川崎駅下車。
「草木染教室◆川崎市民
プラザ」9月23日(土)24
日(日)10時からハンカチ
を染める。無料。9月9日
(土)必着で往復はがきに
氏名、住所、年齢、電話番
号、希望日を記し〒13
高津区新作1の19の1、同
草木染教室係。☎(888)
3131。梶が谷駅下車。
「健康づくり教室◆サン
ライフ川崎」10月18日～11
月15日の毎週水曜13時半か
ら、全5回。2060円と
保険料500円。先着50人。
申し込みは9月15日(金)
から☎(344)1777
の同所Ⅱ八丁駅下車。
「専修大学公開講座Ⅱ美
と愛と死の思想◆専修大学
生田校舎」9月16日～11月
18日の毎週土曜(11日を除
く)13時半から全9回。リ
ルケの「鎮魂歌」にみる美
と愛と死▽ある女詩人の生
涯▽深尾須磨子の場合など。
無料、教材費千円。申し込
みは往復はがきに住所、氏
名、年齢、職業、郵便番号、
電話番号を記し〒214多
摩区東三田2の1の1同大
学教務課公開講座係☎
(911)1260。向ヶ
丘遊園駅北口からバス。
「公開講座Ⅲ情報と環境
◆国士館大鶴川校舎メイ
ブルホール」9月4日(月)
～8日(金)の13時と14時
40分から。激動する世界に
おける情報と環境▽情報文
学としての江戸戯作など。
無料。申し込みは☎03
(5481)3203の同
大学教務課公開講座係。鶴
川校舎は鶴川駅からバス。
「国士館オープンセミナー
Ⅰ①ラテンアメリカ世界の
変容と日本②すぐに話せる
インドネシア語講座③情報
化社会と上手につき合う法
◆国士館大鶴川校舎メイ
ブルホール」①は9月29日～
12月1日の毎週金曜14時半
から、全10回②は9月25日
～11月27日の毎週月曜18時

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある

から、全10回◎は9月16日
〜10月14日の毎週土曜14時
から、全5回。無料。申し
込みは前項の☎へ。

「球根草花の育て方講習
会◆市緑化センター」10月

11日(水)13時半から。教
材費700円。9月29日(金)

までに往復はがきに講習会
名、住所、氏名、電話番号

を記し〒214多摩区宿河
原6の14の1、同センター

☎(911)2177。

「神奈川ニューライフカ
レッジ公開講座◆登戸レ

スメーカー学院」9月10、
17日の日曜14時から。ピテ

オ撮影と編集方法を渡辺昭
治・元NHKビデオカメラ

マンが指導、批評会も。1
回千円。申し込みは午前中

に☎(911)2221の
同学院向ヶ丘遊園駅下車。

「食生活講座」おいしく
カルシウムを食べよう◆麻

生老人福祉センター」10月
11日と18日の水曜9時半か

ら。どちらかを選択。60歳
以上。材料費500円。申し

込みは☎(966)154
9の同センター◆新百合ヶ

丘駅からバス。

「民家園講座」日本建築
の歴史とその特質◆日本民

家園」10月7日〜11月4日
の毎週土曜13時半から、全

5回。阪神大震災で日本の
建築物のもろさが問われて

いるが、建設省建築研究所
の河合直人さんが「民家の

構造と耐震性」について講
義。受講料4千円。申し込

みは9月25日(月)必着で
往復はがきに住所、氏名、

電話番号を記し〒214多
摩区柘形7の1の1、同園

☎(922)2181。

「ワープロ教室◆東芝科
学館」9月20日(水)21日

(木)9時半から入門コー
ス▽13時半から基本コー

ス▽13時半から基本コー
ス▽13時半から基本コー

「労働問題専門講座◆川
崎北労働センター」9月

19日(火)〜10月26日(木)

の10回、18時15分から、安
心して働ける職場をつくる

ために労働基準法、労組法、
経済の動向、判例解説を。

講師は花原二郎・法政大教
授ほか。2060円。申し

込みは☎(722)017
1の同所◆武蔵小杉駅下車。

「消費者週間講座・シン
ポジウム◆県川崎消費生活

センター」10月12日(木)

16日(月)18日(水)10時
から、クレジット氾濫時代

の家計防衛を岩崎和雄・経
済ジャーナリストが講義。

無料。託児あり。申し込み
は10月2日(月)までに☎

(833)1231内線3
32の同所◆溝ノ口駅下車。

「市民天体観望会◆青少
年科学館」9月23日(土)

18時半から。木星、土星を
観望。無料。小学生以下保

護者同伴。雨、曇りは星の
話。参加自由。☎(922)

4731の同館。

「自然観察会①バッタ②
アカトンボ◆生田緑地ほか」

①は10月1日(日)青少年
科学館集合。雨天決行②は

10月14日(土)小田急多摩
線黒川駅改札口集合。10時

集合。小学生以上。無料。
申し込みは①9月19日(火)

②20日(水)9時から☎
(922)4731の同館。

「ミニ観察会◆生田緑地」
9月24日(日)と10月8日

(日)13時半から地質観察
▽10月7日(土)14時から

植物観察。申し込み不要。
集合は10分前に青少年科学

館。雨天中止。☎(922)
4731の同館。

「神奈川こども人形劇脚
本コンクール作品募集」題

材は県内の昔話・伝説。上
演時間30分以内。未出版・

上演作品可。資格は県内在
住に勤者。10月31日(火)

消印有効。審査員は萩坂昇
・民話研究家ら。☎045

(241)3131内線3
211の県立青少年センタ

ー児童文化課内・同コンク
ール事務局で要項配布。

「環境ワークシヨップ◆
神奈川ユースホステルとそ



初めてふれるパソコン講座II 受講者募集

- 日 時 — 10月17日(火) 18日(水) 20日(金) の午前10時〜午後4時
- 場 所 — 市教育文化会館学習室 (JR川崎駅東口下車、徒歩15分 バスあり)
- 対象・定員 — 市内在住に勤の30人 (定員を超えた場合は抽選)
- 受講料 — 8,000円。他に教材費1,500円
- 使用機種 — NEC PC9801DX-U
- ◎申し込みと問い合わせ — 9月19日(火)〜26日(火)に☎(233)6250の川崎市生涯学習振興事業団川崎分室(月曜休み)

学習・文化情報

おもしろいイベントがある

の周辺」10月21日(土) 14時から「環境教育、私の実践」など▽22日(日) 9時から「野外実践」。講師は猪股雄輝・自然教育総合研究所代表。対象は18歳以上。参加費2千円。同研究所主催。申し込みは郵便局で2千円の定額小為替を購入、無記名で〒2100幸区中幸町4の11、猪股雄輝方自教研修会係。問い合わせは22〜23時 ☎(522) 2640の猪股。

「天体観望会◆川崎授産学園」9月9日(土) 19時から。名月、秋の星座の観望とスライド、映画。先着3百人に団子。雨、曇りは天文集会。無料。小学生以下は保護者同伴。 ☎(954) 5001。新百合ヶ丘駅からバス。

「ダンスパーティー◆川崎市民プラザ」10月28日(土) 18時半から。オーケストラ出演。2千円。前売りは9月28日(木) から同フロント ☎(888) 3131。梶が谷駅下車。

「和光大学30周年記念シンボルソング・シンボル

マーク・ロゴのデザイン類募集◆和光大学」ソングは作詞、作曲いずれも可で、楽譜かテープ。未発表。作品は返却せず。著作権は大学に。審査委員長は杉山康彦・同大学長。採用作品に謝礼・賞状、全員に記念グッズ。応募は30日(土)までに〒1950町田市金井町2160、同大学30周年記念事業委員会。 ☎(988) 1431内線21002同大総務課内事務局。

「子ども自然発見クラブ◆黒川青少年野外活動センター」9月24日(日)▽10月28日(土)〜29日(日) 1泊2日▽11月25日(土)▽12月2日(土)〜3日(日) 1泊2日。野外料理、秋の星座、ナイトハイキング。小学3〜6年。3千800円。9月19日(火)までにはがきに住所、氏名、学校名、学年、性別、電話番号を記し〒215麻生区黒川313の9同センター。 ☎(986) 2511。黒川駅下車。

「親子自然教室◆黒川青少年野外活動センター」10

月15日▽11月26日▽12月17日の日曜。秋の虫、植物、野鳥観察。小学以上の親子600円。申し込みは10月5日(木)までにはがきに住所、親子の氏名、学校名、学年、電話番号を記し前項にある同センター。

「みやまえふれあいフェスタ」ピアノ・スト横山幸雄が特別出演◆宮前区役所・市民館周辺」9月17日(日) 11時と14時から同市民館で「みやまえふれあいコンサート」出演者のコンサート。入場自由▽14時から、市民参加型まちづくりに向けたシンポジウムと基調講演。会場は同▽10時から農産物、手づくり品、リサイクルバザールや保健、福祉相談コーナー。会場は同区役所周辺。 ☎(856) 3125。

「①敬老の集い②お茶会③敬老の日来館記念写真展④レセント◆麻生老人福祉センター」①は9月7日(木)午前は演芸大会、午後は国立音大カンマーコール合唱団コンサート。先着2百人②は同11時からお茶とお菓子のサービス。先着百人③

は9月15日(金) 10時から60歳以上。申し込みは①受け付け中②③当日整理券配布。 ☎(966) 1549。新百合ヶ丘駅からバス。

「健康フェア◆麻生老人福祉センター」10月13日(金) 11時から。体力測定▽腰痛、膝の痛みを和らげる体操の指導。先着35人▽食生活コーナー▽脂肪のとおり方▽福祉コーナー「もし倒れたら寝込んだら」60歳以上。申し込みは9月11日(月) から ☎(966) 1549の同センター 新百合ヶ丘駅からバス。

「①わくわく実験教室②やさしい先端技術講座◆東芝科学館」①は9月9日(土) 10時と13時から「ふしぎな新素材」を実験を交え説明②は9月14日(木) 10時と13時半から「移動通信技術の動向」。簡易型携帯電話(PHS)と携帯電話の違いの実演と解説。無料。申し込みは ☎(549) 2200の同館。川崎駅からバス。

「川崎臨海部景観デザイン募集」「かがやき」と

9月5日午前10時発売開始

中国遼寧芸術団川崎公演

友好姉妹都市瀋陽から伝統の芸術・秘技を携え来日、一挙公開!!

11月27日(月)午後7時開演 エポックなかはらホール

入場料 前売り3,000円(全席指定)・当日売り3,500円(完売の時はご容赦下さい)

チケット販売所 (財)生涯学習振興事業団 ☎952-5000・各市民館・市文化財団ほか

問い合わせ 同事業団河原町分室 ☎533-4461 主催 川崎市/市教委

学習・文化情報

魅力的なステージがある



「①ブラザ寄席②敬老の日特別公演」宝とも子シヨ
 ◆川崎市民プラザ」①は
 9月9日(土) 18時から。
 出演は古今亭志ん朝、東京
 ポーイズ、三笑亭夢丸②は

ステージ

「①ウオーキング入門②
 シエイブアップ◆幸スポ
 ツセンター」①9月20
 月22日の水曜10時から。心
 肺機能向上と肥満・高血圧
 ・腰痛予防に②9月30日
 12月2日の土曜18時半から
 15歳以上。各4千円。申し
 込み9月13日(水)①10時
 ②18時半同館。☎(555)
 3011。

「若返り体操教室◆幸ス
 ポーツセンター」体操やゲ
 ームで体づくり。9月14日
 11月2日の木曜10時から
 60歳以上。960円。申し
 込み9月7日(木)10時同
 館。☎(555)3011。
 「武道教室①剣道②少林
 寺拳法③なぎなた④柔道⑤
 合気道◆石川記念武道館」
 ①9月21日12月5日の火
 ・木曜17時から②9月28日
 12月7日の木曜18時から
 ③9月30日12月2日の土
 曜15時から④10月12日11

スポーツ

9月15日(金) 14時から、
 宝とも子出演。写真。曲目
 はベサメ・ムーチョ、キエ
 ン・セラ他。定員先着5百
 人。入場料は①前売り千7
 百円、当日2千円②無料。
 詳しくは☎(888)31
 31の同所。梶が谷駅下車。
 「アンサンブル・ウイ
 ンのタペ◆靴ホール」10月
 3日(火) 19時開演。出演
 はウインフィルのメンバ
 ーによる弦楽四重奏団。曲
 目はモーツァルト「ディベ
 ルタイムント」▽ブラーム
 ス「ハンガリアン舞曲」。
 入場料は全席自由4千円。
 問い合わせは☎(812)
 6090の同ホール。武蔵
 溝ノ口駅下車。

「東京オペラプロデュ
 ス定期演奏会」ブッチーニ
 「トスカ」◆メルパルクホ
 ール」9月6日(水) 7日
 (木) 18時半開演。指揮はE
 ・マッツォーラ。オーケス
 トラは日本新交響楽団。主
 演は林ひろみ、星洋二ほか。
 川崎のゆりがおか児童合唱
 団が少年合唱で出演。入場
 料はS席1万2千円▽A席
 9千円など。都営三田線芝

公園駅下車。問い合わせ☎
 03(3530)5181
 の東京オペラプロデュース。

ゆぎな
神楽月の誘い「早池峰神楽と乙女文楽」

前売り中

—川崎に伝わる乙女文楽と岩手県東和町の郷土芸能が競演!

11月18日(土)午後2時半開演/新百合21ホール (小田急線新百合ヶ丘駅)
 11月19日(日)午後2時半開演/川崎市民プラザ (田園都市線梶が谷駅バス)

入場料 2,000円 (全席自由)

◆早池峰岳流
 石鳩岡神楽◆

舞の舞・権現舞
 舞・五穀の舞
 舞・天女の舞
 出演 早池峰岳流
 石鳩岡神楽保存会



◆乙女文楽◆
 壺坂靈驗記
 「山の段」

出演 人形劇団ひとみ座
 義太夫 竹本素八
 三味線 豊澤幸治

チケット発売所 (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎952-5000
 同事業団情報コーナー ☎233-6250・チケットぴあ・チケットセゾン
 問い合わせ先 同事業団小杉分室イベント事務局 ☎422-3932
 (主催) 川崎市生涯学習振興事業団/川崎市教委

学習・文化情報

見たい美術がある

月14日の火・木曜18時から
 ◎9月16日～11月25日の土
 曜18時から。小学生以上。
 申し込みは9月10日(日)
 14時に来館 ☎(544)
 0493。

①親子スポーツ教室②
 高齢期前の体力づくり③テ
 ニス教室④バドミントン入
 門⑤ウエイトレーニング
 指導者養成講座⑥小中学生
 体操教室◆麻生スポーツセ
 ンター①9月9日～11月

11日の土曜10時から。3、
 4歳児とその親。1組3千
 円◎9月16日～11月25日
 の土曜14時半から。60歳前後。
 4千円◎9月16日～11月25
 日の土曜10時から。夫婦。

1人4千円、他に7千円④
 9月22日～12月1日の金曜
 13時半から。4千円、他に
 2千円◎9月24日～10月29
 日の日曜15時から。トレー
 ニング歴2年以上。百20円
 ◎10月28日～3月23日の第
 2、第4土曜10時半から。

指導はバルセロナオリンピック
 ック団体銅メダリスト相原
 豊他。60円。申し込み①9
 月2日(土)10時②③8日
 (金)18時半④8日(金)

10時◎16日(土)18時◎10
 月14日(土)10時同センタ
 ー ☎(951)1234。
 「太極拳初心者講習会◆
 いさご会館」9月22日より
 金曜10時から、全10回。簡
 化24式太極拳を基礎から。
 4千円、他に千3百円。申
 し込み ☎045(572)
 2367の二平。

「スポーツデー◆とどろ
 きアリーナ」曜日別に次の
 スポーツができる。エアロ
 ビクスⅡ火(午前・夜)、木
 (夜)、金(午前)▽リフレ
 ッシユ体操Ⅱ水(午前)▽
 パスケットボールⅡ水(夜)、
 金(午後)▽卓球・バドミ
 ントンⅡ金(午後・夜)、
 土(午前)▽トランポリン
 Ⅱ土(午前)。大人3百円、
 こども百50円。申し込み不
 要。 ☎(798)5000。

「ヨガ入門◆中原市民館」
 9月2日～23日の土曜19時
 から。呼吸法からアサナ
 (体位体操)、リラクスマ
 で。千円。申し込みは中原
 区新城中町14の24、酒井盛
 雄あて往復はがきでⅡ(7
 7)0655。

「新百合21ビル生涯学習
 振興事業団会議室」9月16
 日(土)～20日(水)11時
 半～16時半「かわさき市民
 アカデミー会員作品展」。
 絵画、陶芸、写真、書道な
 ど会員の作品を展示。問い
 合わせは ☎(422)39
 32の当事業団小杉分室。

「市民ミュージアム」
 9月17日(日)まで「映画
 生誕100年博覧会Ⅰシネ
 マの世紀」▽企画展示室Ⅱ
 映画の歴史を語るさまざま
 なモノや資料を展示▽ギャ
 ラリーⅡ「シネマとギャラ
 リー」ポスターや書籍、文
 献など映画に関する資料展
 示▽9月2日(土)3日(日)
 9日(土)、映画上映「前
 衛とリアリズム/美術監督
 ・久保一雄」▽9月17日
 (日)14時から。漫画家・
 藤子不二雄(△)さんと脚本家
 ・山田太一さんの記念対談。
 12日(火)9時半から ☎
 (754)4500に申し
 込む。観覧料一般5百円、
 小中学生3百円。武蔵小杉

駅からバス。
 「ギャラリー幸」9月8
 日(金)～13日(水)、女性
 の美を描く「瓊展」▽9月
 15日(金)～17日(日)、
 白鳥高代・香宗我部房子
 「押し花二人展」▽9月22
 日(金)～27日(水)「方波
 見功一個展」▽9月29日
 (金)～10月4日(水)
 「猫の絵展」。 ☎(555)
 8181川崎駅下車。

ギャラリー

「東京国際美術館」9月
 1日(金)～17日(日)、「
 安喰虎雄自選展」蟹、海
 老などを題材にした作品展
 Ⅱ写真。 ☎0423(38)
 9731京王・小田急多
 摩センター駅下車。

「画廊ランブ屋」9月20
 日(水)～29日(金)「アン
 リ・マチス版画・ポスター
 展」 ☎(945)4416
 Ⅱ稲田堤駅下車。

「ギャラリー華沙里」9
 月19日(火)まで「ネオリ
 アリズム三人展」上田薫、
 嶋剛、森秀雄▽9月21日
 (木)～10月10日(火)
 「現代巨匠三人展」大沢昌
 助、織田廣喜、難波田龍起。
 ☎(954)2333Ⅲ新
 百合ヶ丘下車。

「三二画廊喫茶」9月
 1日(金)～30日(土)、
 「小川誠治オーロラ写真展」
 ☎(544)0507Ⅲ鹿
 島駅下車。

「会館とどろき」9月4
 日(月)～17日(日)「花と
 旅」遠藤英夫写真展▽9月



21日(木)～28日(木)写
 真展「教師の見た世界」市
 海外教育経験教員の会主催
 ☎(733)3333Ⅲ武
 蔵小杉駅からバス。
 「中村正義の美術館」9
 月2日(土)～24日(日)
 中村正義「風景画」展。入
 館料一般5百円、学生3百
 円、小中学生2百円。 ☎
 (953)4936Ⅲ読売
 ランド前駅からバス。

読者の声

岡本太郎美術館についての
記事の扱いはとても不快だ
多摩区中野島 高田直子さん

「Stage Up」6月号の

「いまを話す」のゲスト・酒井博さんが、岡本太郎美術館建設を批判し「生田緑地を自然文化の発祥の地にすべきだ」としている。市民、特に多摩区民は美術館建設にまったく同意していない。ところが、同号14ページに岡本太郎美術館準備室の「同美術館が自然と文化が融和した字び

あえるまちの実現に貢献するものと期待され、3年後には実現！」との記事を掲載。酒井さんの考え方をけん制した記事としか思えず不快だ。目を輝かせオーロラ写真を見る子供たちに接して……

麻生区多摩美 小川誠治さん

「Stage Up」の学習・文化情報欄に私の「オーロラ写真展」を掲載して下さり感謝しています。私は休日に会場で3時間、案内をしました。目を輝かせて写真を見つめる子供たちを見て、かつての自分の姿を思い起こし「聞いて良かった」と思いました。

3年ぶりエレーナの熱唱 市民に新鮮な感動与える

7月10日、世界的メソソプラノ歌手、エレーナ・オブラストオフ出演の「愛のチャリティー市民コンサート」（川崎音楽文化連盟主催、代表・大里洋子さん）が、エポックなかはらであった。川崎での3年ぶりの演奏会でピアノ伴奏はヤン・ホラーフ武蔵野音大教授。豊かで迫力に満ちた声、小さな透きとおった声がホール全体に響く。歌唱力と体全体で曲の内容を表現するスケールの大き

い音楽。前列の男性が体を揺らして原語の「ハバナラ」に聴き入る。エレーナは鳴りやまぬ拍手と歓声に4曲のアンコールで応えた。

ゲストに安田祥子さん 盛況の童謡コンサート

川崎童謡の会（田辺 三男・会長）が6月6日「エポックなかはら」で安田祥子さんをゲストに迎え「第2回こころの歌童謡コンサート」を開き、千人の市民が楽しんだ。当事業団など後援。安田さんが「しかられて」「からたちの花」などを澄んだ声で語りかけるように歌う。観客は庶民の心に生き続けるメロディーに



酔う。「雨」「みかんの花咲く丘」を塚田佳男の指揮、小原孝のピアノで全員合唱。川崎にちなんだ「ちよつとお耳を」（作詞・原博良、作曲・横山太郎）で会場は笑顔いっぱい。吉井龍子・童謡の会事務局局長は「熱気に包まれた演奏会になった。来年は休日に三世代が楽しめる企画を」と話す。

ゆりがおか児童合唱団が 「カルメン」を原語で歌う

「東京アカデミッシェカペレ」定期演奏会が6月下旬、オーチャードホールであり、ピゼーの歌劇「カルメン」を指揮・山下一史（NHK交響楽団指揮者）、カルメン・永井和子・二期会会員らで演じた。街の子供たちは「ゆりがおか児童合唱団」。見事なフランス語で歌い上げ観客の拍手を受けた。原語をマスターするため、専門家の特訓を受けた努力が実った。「ゆりがおか」は9月6日、7日、東京メルバルクホールで、イタリアのプロ演奏家とブッチー二の歌劇「トスカ」で共演する。

編集後記

実は、今号「いまを話す」のゲスト、曾根麻矢子さん取材したのは6月の初め▼デニムの上というラフな服装での初対面の印象は「普通の若い女性」

▼しかし、自分の進路は自分で決断する独立心▼好きなチェンバロのための努力を「苦勞」と考えず「楽しむ」気持ちを持ち続けた強靱な意思▼この2つが実感できた1時間でした▼「新人類」という語感には「自分勝手」「マイペース主義」など否定的響きがありますが、曾根さんの生き方は「国際的新人類」▼大リーグでの野茂英雄投手の活躍に世界が興奮▼日本で否定されたトルネード投法に自らを賭けた「国際的新人類」に乾杯▼先の参院選でマスコミは仲良く「争点がない」▼四〇％強の低投票率に「民主主義の危機。国民がしっかりしないと……」もないものです▼長期化する円高不況、高齢・少子社会におけるさまざまな問題、精神的貧困などなど▼生活者の目があれば、争点が山積した選挙報道になったはずです▼選挙公約をホゴにして恥じない政治とはなにかの視点もゼロ▼マスコミと政治の世界では、仕事にすべてを賭ける「国際的新人類」は育っていない？



かわしんマスコット
タットちゃん

暮らしの中で、ビジネスで
いつもお役に立ちたい。
かわしんは皆様の毎日に
大きな信頼でお応えします。



大好きです 私たちの街

川崎信用金庫

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000 代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園

ぜいたく
贅沢しませんか? 日常生活で……

わが家でプロのマッサージと健康によい水

モミモミ タタキ
宥 けんせい 聖



布地/丸編み
EP575F(ベージュ)
標準価格 175,000円(税別)

医療用具番号63日1997

- ①こぶし感覚のタタキマッサージ。
- ②強力ポイントもみ付。

タタキパイプ



EV278 標準価格 11,000円(税別)

- ①速さ調節でタタキ、振動が選べます
- ②速度連動型パワーコントロール付
- ③指感覚のフィンガーアタッチメント付



ナショナル
アルカリイオン整水器
ミストピア

TK737-W(白)
標準価格 110,000円(税別)

快適を科学するナショナル製品が 格安で

カタログのご請求
お問い合わせ

☎ 044-954-4154

株ヒューマンテック
コーポレーション

〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306